

(様式6-1) 農山漁村地域整備計画 事後評価書

計画の名称	静岡県森林整備農山漁村地域整備交付金計画																									
計画の期間	平成27年度	～	平成29年度 (3年間)																							
計画の目標	交付対象 静岡県、市町、森林組合等 荒廃が進む森林において、溪間工、山腹工及び森林整備等を行う。これらにより、森林の公益的機能を高め、持続し、山地災害未然防止を図るとともに、下流の漁場、農業用水施設への土砂流入を緩和する。 また、木材価格の低迷等に伴う林業生産活動の停滞により、間伐等の森林施業が進まず荒廃した森林が増加しており、水源涵養、土砂災害防止等森林の公益的機能の低下や、人家や施設等への直接的な被害も懸念されている。 このため、林道等の路網整備対策を重点的に講じ、利用間伐による効率的かつ安定的な林業経営の基盤づくりを推進し、継続的な森林整備を促進する。																									
計画の成果目標 (定量的指標)	山地災害の安全対策を講じた地区数 林道から200m以内の森林面積 年間森林整備面積																									
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H27当初)</th> <th>中間目標値 (H 末)</th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 治山事業：山地災害の安全対策を講じた地区数</td> <td>853 区域</td> <td>-</td> <td>929 区域</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 森林整備事業 (林道)：林道から200m以内の森林面積</td> <td>19.2 万ha</td> <td>-</td> <td>20.0 万ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 森林整備事業 (造林)：年間森林整備面積</td> <td>9,500 ha</td> <td>-</td> <td>10,000 ha</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H 末)	最終目標値 (H29末)	① 治山事業：山地災害の安全対策を講じた地区数	853 区域	-	929 区域		② 森林整備事業 (林道)：林道から200m以内の森林面積	19.2 万ha	-	20.0 万ha		③ 森林整備事業 (造林)：年間森林整備面積	9,500 ha	-	10,000 ha	
	定量的指標の現況値及び目標値				備考																					
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H 末)	最終目標値 (H29末)																							
① 治山事業：山地災害の安全対策を講じた地区数	853 区域	-	929 区域																							
② 森林整備事業 (林道)：林道から200m以内の森林面積	19.2 万ha	-	20.0 万ha																							
③ 森林整備事業 (造林)：年間森林整備面積	9,500 ha	-	10,000 ha																							
全体事業費	合計	3,076 百万円																								

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ			
第2期 (H20～H24)		第3期 (H25～H29)	
分野名	安全・安心	分野名	安全・安心
目標名	土砂災害対策の推進	目標名	土砂災害に強い基盤整備
指標名	山地災害から保全される危険地区数	指標名	山地災害防止施設の整備率
	目標値 (H24) 352地区		目標値 (H29) 80.1%
分野名	活力・交流	分野名	活力・交流
目標名	力強い農林水産業を支える基盤整備の推進	目標名	農林水産業の新たな展開
指標名	林道等の整備により効率的な森林施業等が可能となる森林面積	指標名	林道等の整備により効率的な施業が可能となる森林面積の割合
	目標値 (H24) 186千ha		目標値 (H29) 100.0%
分野名	環境・景観	分野名	環境・景観
目標名	地球温暖化緩和策の推進	目標名	温室効果ガス排出削減の推進
指標名	森林吸収量確保に向けた年間森林整備面積	指標名	吸収源対策となる森林整備面積
	目標値 (H24) 10,800ha (毎年)		目標値 (H29) 10,000ha/年

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) -：その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))											
① 治山事業											
事業名	事業メニュー	事業箇所名 (地区名)	事業主体	関係市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
						H27	H28	H29			
治山事業	予防治山事業 他	静岡県内	静岡県	静岡県内各市町	溪間工等 34区域				931	○	
漁場保全の森づくり事業 (保安施設事業)	防災林造成事業 他	静岡県内	静岡県	静岡県内各市町	森林整備等 14区域				1,360	○	
小計 (治山事業)									2,291		

② 森林整備事業（林道）

事業名	事業メニュー	事業箇所名 (地区名)	事業主体	関係市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	事業実施期間（年度）			全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
						H27	H28	H29			
森林整備事業	育成林整備事業 (森林管理道整備)	青野八木山線	静岡県	賀茂郡松崎町 賀茂郡南伊豆町	林道開設 974m				199	○	
	フォレスト・コミュニ ティ総合整備事業 (森林基幹道整備)	土肥戸田線	静岡県	沼津市 伊豆市	林道開設 122m 林道改築 1,922m				98	○	
		裾野愛鷹線	静岡県	裾野市	林道開設 1,342m				259	○	
		大尾大日山線	静岡県	周智郡森町	林道開設 616m				105	○	
	林道点検診断 ・保全整備	静岡市内	静岡市	静岡市	林道橋点検診断 79橋				30	○	
小計(林道事業)									691		

③ 森林整備事業（造林）

事業名	事業メニュー	事業箇所名 (地区名)	事業主体	関係市町村	計画期間内の事業内容 (工種及び数量)	事業実施期間（年度）			全体事業費 (百万円)	進捗 状況	備考
						H27	H28	H29			
森林整備事業	共生環境整備事業 (森林空間総合整備)	静岡県内	静岡県	静岡市 浜松市	森林整備 17.53ha				11	○	
	機能回復整備事業 (花粉発生源対策促進)	静岡県内	県内市町、 森林組合等	静岡県内各市町	森林整備 13.66ha				83	○	
小計(造林事業)									94		

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

<p>I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p><① 治山事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・山地災害の未然防止を図るため、荒廃溪流及び荒廃危険山地において、治山ダム工（58基）、山腹工（1.08ha）等を整備し、下流域の住民の安全・安心な生活環境の創出に寄与した。 ・森林の過密化や表土の流出等により、水源涵養機能や土砂流出防止機能が低下した保安林において森林整備約107haを実施し、保安林機能の向上及び下流の漁場環境の保全が図られた。 <p><②, ③ 森林整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の基盤となる林道を4,976m整備した。これにより、林道から効率的な森林施業等が可能となる森林面積は70ha増加した。 ・整備された林道の利用区域内において、3年間で約253haの森林整備が実施された。 ・森林整備事業（造林）において、森林吸収量の確保に寄与する間伐等の森林整備を31ha実施した。
--	---

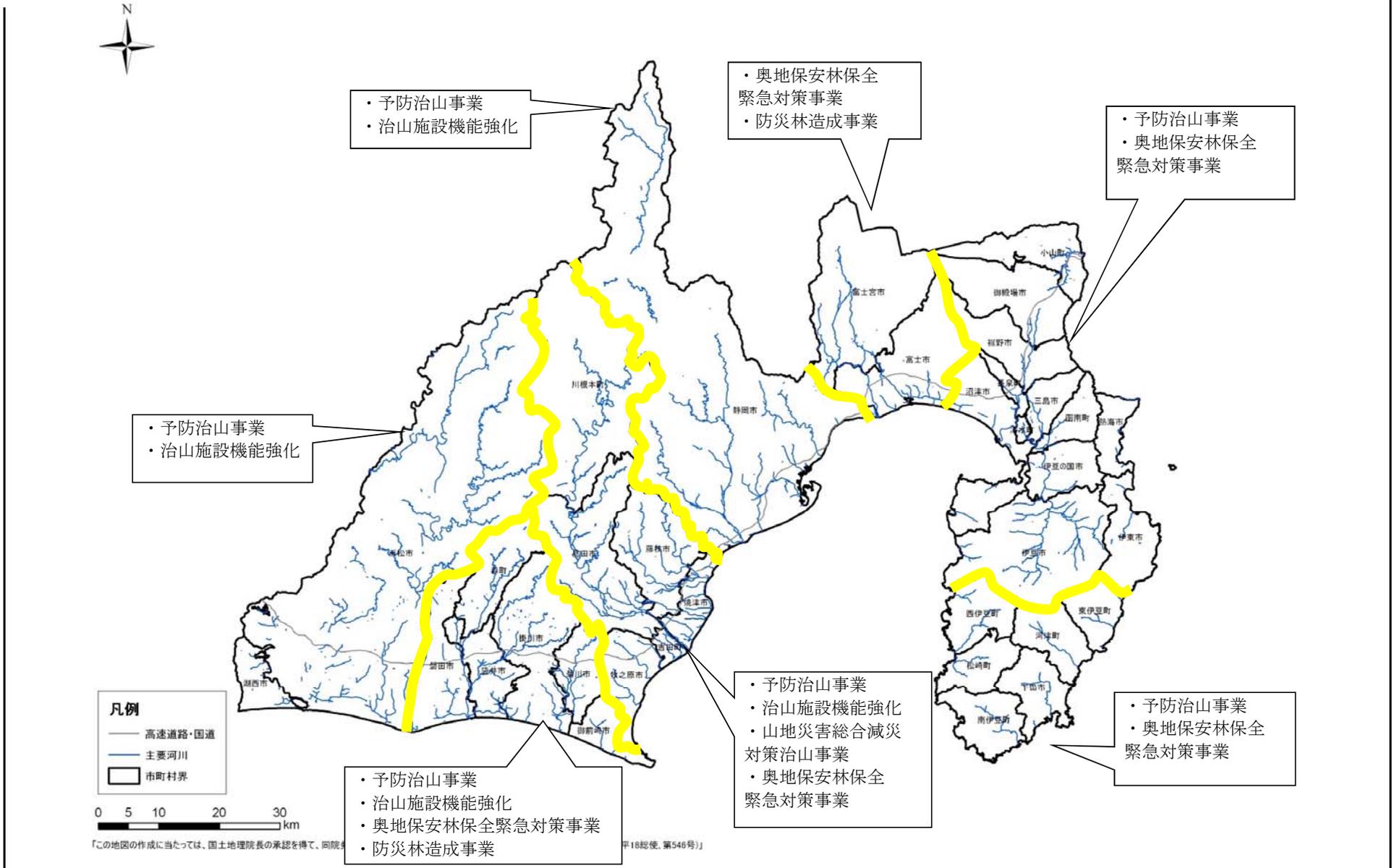
<p>II 定量的指標の達成状況</p>	<p>① 治山事業</p>	最終目標値	929 区域	<p>目標値と実績 値に差が出た 要因</p>	計画的な事業執行により、目標が達成できた。
		最終実績値	929 区域		
	<p>指標② 森林整備事業 (林道)</p>	最終目標値	20.0 万ha	<p>目標値と実績 値に差が出た 要因</p>	計画的な事業執行により、目標が達成された。
		最終実績値	21.4 万ha		
	<p>指標③ 森林整備事業 (造林)</p>	最終目標値	10,000 ha	<p>目標値と実績 値に差が出た 要因</p>	計画的な事業執行により、目標が達成された。
		最終実績値	10,606 ha		

<p>III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・治山施設の整備により、対策実施区域において山地災害による死者は発生していない。 ・林道、森林作業道、治山施設等の整備により、森林の多面的機能の維持増進とともに利用間伐が推進され、木材の安定供給に向けた体制の整備が進んだ。
---	--

<p>3. 特記事項（今後の方針等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山地災害対策が必要な区域が依然多く存在していることから、今後も治山事業を推進し、山地災害防止機能の向上、保安林機能の維持、回復及び漁場環境の保全を図っていく。 ・森林の多面的機能の維持増進のため、間伐等の適正な森林整備を引き続き推進する。 ・また、森林整備の基盤となる林道、作業道の整備を進めることで、間伐材の搬出利用を促進し、木材の安定供給に努める。
------------------------	---

(様式6-1) 農山漁村地域整備交付金計画 (参考図面)

計画の名称	静岡県森林整備農山漁村整備交付金計画	
計画の期間	平成27年度～平成29年度(3年間)	交付対象 静岡県、市町、森林組合等



(様式6-1) 農山漁村地域整備交付金計画 (参考図面)

計画の名称	静岡県森林整備農山漁村整備交付金計画	交付対象	静岡県、市町、森林組合等
計画の期間	平成27年度～平成29年度(3年間)		

